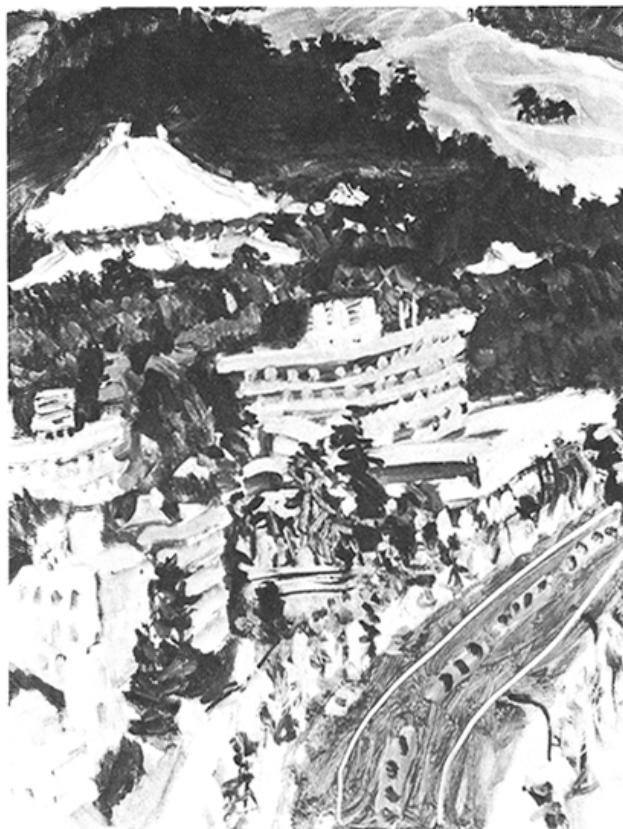


愛知の博物館

No. 43



杉本憲吉作「東大寺 佛殿遠望」（1975年作品） 杉本美術館

905×720mm

正月の山焼きが終って間もなく、寒い日であった。ビルの屋上の風はキャンバスを鉄柵に結えつけなければ飛んでしまう。自分はビニールを体に巻きつけサナギのような姿で写生した。何時までも立っておられない。手は凍えてきて動かない。ギリギリ迄描いて浴室に飛びこむ。（杉本記）

目 次

- 昭和62年度愛知県博物館協会総会報告..... 2
- 新加盟館紹介..... 3
- 1) おかざき世界子ども美術博物館 2) 杉本美術館 3) 名都美術館 4) 岩崎城歴史記念館
5) 甚目寺町歴史民俗資料館 6) 作手村歴史民俗資料館

昭和62年度

愛知県博物館協会総会報告

昭和62年度愛知県博物館協会総会が、5月22日(金)名古屋市伏見の「でんきの科学館」で開催されましたので、下記の通り御報告致します。

会長挨拶……日下英之(愛知県陶磁資料館々長)

開催館挨拶…帆高寿壯(でんきの科学館々長)

来賓…………加藤健一(愛知県教育委員会文化財課長)

表彰…………市立名古屋科学館総務課長中島 健

同 上 技術課長滝本正二

徳川美術館学芸課員 佐藤豊三

東海銀行貨幣資料館名譽館長 鬼頭晴彦

博物館明治村係長 傍島光光

同 上 係長 半田力雄

以上「功労賞」

名古屋海洋博物館主査 伊藤 宏

以上「奨励賞」

新規加盟館 岩崎城歴史記念館

おかげ世界こども美術博物館

岡崎市美術館

甚目寺町歴史民俗資料館

杉本美術館



作手村歴史民俗資料館

名都美術館

議題 (1)昭和61年度事業報告

昭和61年度収支報告(監査報告昭和美術館)

(2)協会規約の一部改正

(3)昭和62年度事業計画

昭和62年度収支予算

以上3件事務局より説明承認される。

○討論会

「各館利用者の現状と その増加対策」

座長を市立名古屋科学館の三輪実行委員として、各

館園の入館者の現状と増加対策を聞く方向で行われた。以下その概要を記します。

まず座長よりテーマの提示がなされ、愛博協も76館園と多くの加盟館があるが、いずれの館園も公立・私立を問わず入館者数の増減に対して大変関心が高いと思われる。そこで各館の現状と増加対策についての報告をうかがいたい。として最初に市立名古屋科学館の報告が行われた。

市立名古屋科学館 昭和37年開館で、年間50万人前後の入館があり、一応安定している。しかし本年度は、NHK-TVからの申し込みもあり、少しでも入館者を増加させようと特別展「地球大紀行展」を開催し平日で3,000名~4,000名、祝日、日曜で5,000~10,000名の1日入館者の最高記録を達成することが出来た。次いで大型公立館の名古屋市博物館は、

名古屋市博物館 当館は3階に貸ギャラリーがあるため、入館者数の算出は入場料システムで行っている。年間には延60万人の利用があり、60・61年度をみても増加の傾向がみられる。これは新聞社との共催によるところが大きい。又昭和55年以降の入館者は安定しており、名古屋に博物館が浸透した結果と思われる。しかし、館独自の企画展の入場者数は減少傾向にある。



減少の理由は広報活動に問題があると考えられ、今後は金を使わないで、きめ細かい広報活動をしたいと考えている。旅行業者と提携するのも1つの方法である。

司会 お金をかけず広報活動をするお話を出ましたが私立博物館で独特の活動をしておられる岩田洗心館はいかがでしょうか。

岩田洗心館 何もしていません。当館は年間数百人足らずですが昨年犬山市立文化資料館が出来、この波及で入館者は増加したようです。出来るだけ個人館の特色を生かした地域の活性化に貢献出来る活動をしたいと思っております。

司会 地域の文化活動に対する活性化をおおいにやっておられる。これが入館者数の増加につながって

いるのではないでしょうか。次に尾西市歴史民俗資料館はどうでしょうか。

尾西市歴史民俗資料館 開館して1年少しの規模館です。本年4月迄の入館者数は1万7千名、1日平均では55人程度です。入館者の状況については周囲からも関心をもってみられており、私共も入館者を増やしたいと思い、なるべく土地柄を生かした展示をするよう心懸けています。入館者の内訳は、開館当初は市民が2/3を占めていたが、7月位から市外の人が市民を越えることが目立っています。この理由は、マスコミ或いは口コミによるものだと考えております。マスコミ等利用出来るものは出来るだけ利用した方がよいと思います。

司会 まだ開館してまかない館ですが、それなりに努力をされておられることが良く判りました。ではもう少し紹介を続けさせて頂きます。三河武士のやかた家康館はいかがでしょうか。

三河武士のやかた家康館 入館者は61年度概算で30万位で、ゴールデンウィーク中に開館以来200万人目の入館がありました。平均しますと年間50万位です。開館当時はテレビやマスコミのお蔭で80万位入館したのですが、歯止めがかかってきました。入館者の内訳は観光客が圧倒的に多く、岡崎城が近くにあるのが幸していると思います。

司会 どこの館も同様ですが、観光客をいかに多く引き入れるか大切な問題だと思います。この点名古屋海洋博物館はいかがでしょうか。

名古屋海洋博物館 開館当初は1日3万2千人位の入館がありましたが、現在3年目で63万人位でしょうか。そこで入館者を増やす手段としてポートセールスと称し、PR誌をもって日帰りで教育委員会3~4箇所を廻り宣伝し、現在はこの効果があらわれて大幅にサービスエリアが拡大しています。又数ヶ所の博物館の遊覧モデルコースを作りPRもしています。この様な活動に併せマスコミ等を利用し、市民の博物館に対する意識を向上させることが大切だと思います。以上の様な報告を司会者が取りまとめる形で、他に豊橋市美術博物館・おかざき世界子ども美術博物館・でんきの科学館・愛知県文化会館美術館等の事例報告があった。豊橋市美術館は、大変成功した企画展「渡辺華山展」を紹介され、時期と企画内容等をかみ合わせ、マスコミをうまく利用することが大切とする意見であった。おかざき世界子ども美術博物館は、その立地条件が岡崎市近郊の丘陵地帯ではあるが、現在はマイカーの時代でもあり、立地条件よりも観光客や入館者を何度も足を運ばせられる様にする点が今後の課題であると述べられた。各館の努力の様子を知る上で大変有意義な討論会と感じられた。

(岡田記)

新規加盟館紹介

おかざき世界子ども美術博物館

The World Children's Art Museum in Okazaki

所在地 〒444 岡崎市岡町字鳥居戸1-1

電話(0564)53-3511

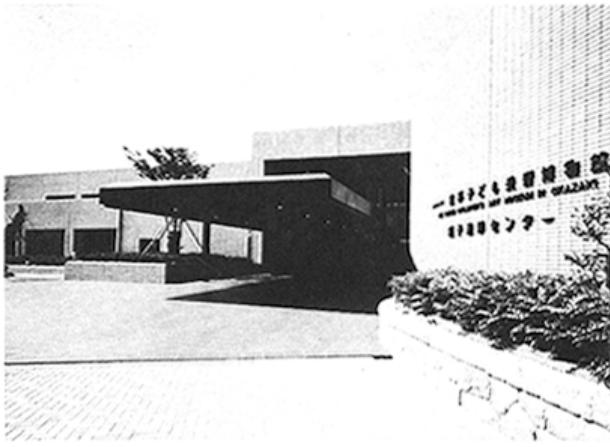
交通 名鉄 美合駅から子ども美術博物館行バスで5分

沿革 21世紀を担う子どもたちに美を通して国際的な広い視野を与え、創造力を育む場として美術鑑賞と創作実習を連携的に試み、その創作過程で親と子の交流を造形のうえに導入することを目的として1985年5月に開館した。

施設	ロビー	529 m ²
	展示室	757.6m ²
	造形教室	481.1m ²
	造形資料室	103.5m ²
	視聴覚室	179.1m ²
	収蔵室	261.4m ²
	延床面積	3.949 m ²
	屋外展示場 展望台	
	敷地面積	50.556 m ²

開館 9:00~16:00 (但し、7月2日から8月31日までは、9:00~17:30)
休館日……月曜日、祝祭日の翌日、展示替期間、市制記念日 (7月1日)、年末年始 (12月28日~1月3日)

入館料 大人……300円 小人……100円
(20名以上の団体は2割引)

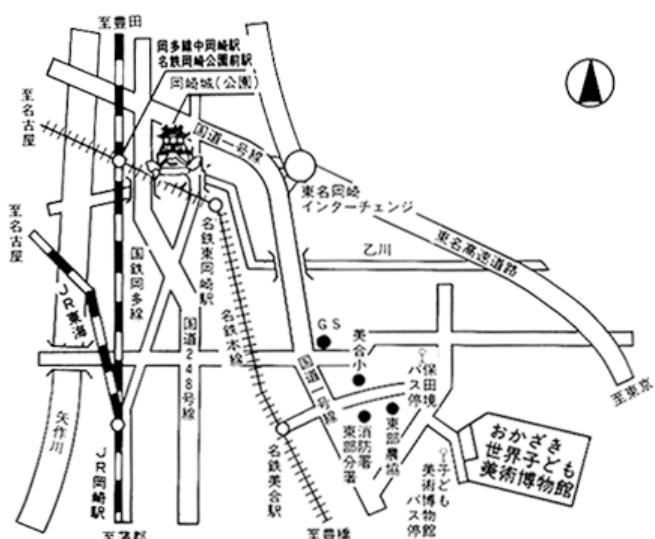
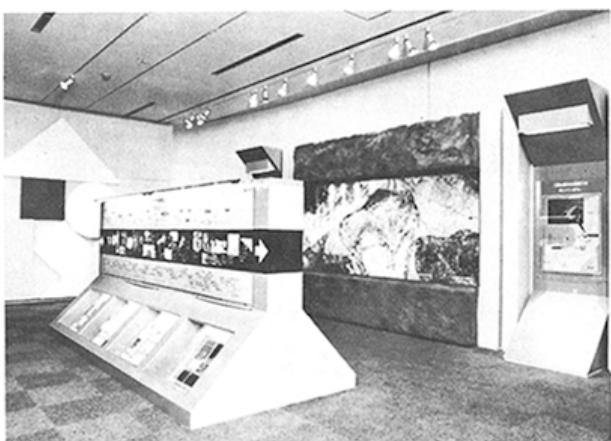


特色 美術博物館の機能をSEE(見る)、THINK(考える)、DO(作る)に三分して、各ゾーンを有機的に機能させ世界の子どもの絵を中心に有名美術家の子ども時代の作品、世界各国文化圏の民芸品、玩具、絵本などを常

設展示している。

そして併設されている親子造形センター(DOゾーン)では専門の指導員が當時新素材の導入をはかり、いつでも気軽に創作活動ができるように配慮し、静的な鑑賞を超える参加型体験ミュージアムとして新方式を打ち出している。

また、館独自の企画展、造形講座も年に5~6回開催し、今までにないユニークな美術博物館として国内外から注目されている。



杉本美術館 SUGIMOTO ART MUSEUM

所在地 〒470-24 知多郡美浜町美浜緑苑1-12-1

電話(0569)88-5171

交通 名鉄美浜緑苑駅から徒歩5分、または同上野

間駅から徒歩5分

沿革 財團法人杉本美術館は、名古屋在住の画家、杉本健吉画伯より、その作品1700点あまりの寄贈をうけ、昭和62年4月に開館をいたしました。

この美術館の開館によって、杉本健吉画伯の作品が「パブリックなもの」として、一般観覧者の方にご鑑賞いただけるものになりました。

施設 鉄筋コンクリート造2階建

インフォメーション	66.5m ²
常設展示室	200.4m ²
「聖徳太子絵伝 新・平家物語」展示室	207.7m ²
企画展示室	20.4m ²
レクチャールーム	84.7m ²
和室	73.0m ²

開館 10:00~16:00

休館日……水曜日

但し、水曜日が祝日のときは翌日

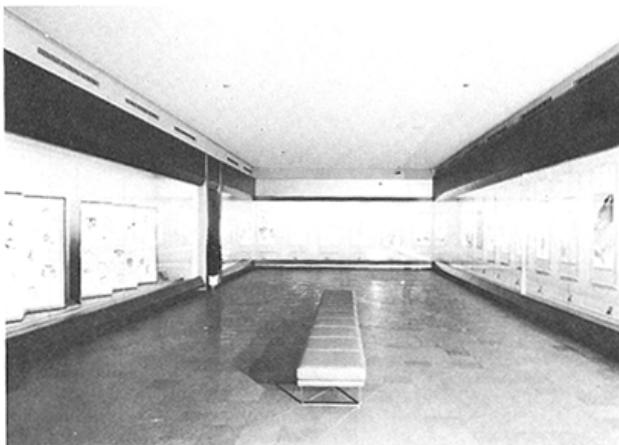


入館料 大人……500円 高校生……300円
小中生……200円(10名以上は団体料金)

特色 杉本美術館は伊勢湾を見はるかす、南知多の丘陵上に位置し、美しい自然環境に囲まれております。展示している作品は、すべてが杉本健吉画伯の作品ですが、なかでも、聖徳太子の生涯を22の場面に描いた「聖徳太子絵伝」(22幅)や吉川英治原作の「新・平家物語」の挿絵(84点)を屏風仕立てにした「新・平家絵物語」屏風(6曲1双)が一堂に会して展示されているのは圧巻です。

また、レクチャールームでは、美しい伊勢湾の風景を楽しみながら、集会ができます。

さらに和室では杉本画伯の作品を床の間に懸け、また本格的な茶室としても使えるよう設計されております。



名都美術館 MEITO ART MUSEUM

所在地 〒460 名古屋市中区上前津一丁目4-5

林ビル2階 電話(052)322-2248

交通 地下鉄 上前津駅下車 6番出口すぐ前

沿革 当館は、林美術財団のコレクションを公開する美術館として開館いたしました。

所蔵品は、明治期より現代に至るまでの代

表的な作家の名作を中心に約200点。このうちから会期をかけて随時40点前後を展示して参ります。地方の時代と言われて久しい昨今文化都市としての名古屋を意識して「名都」と命名し、この目標のもとに少しづつ努力してゆく所存でございます。

開館 10:00~18:00 (入館は17:30まで)

休館日 ……月曜日

但し、月曜日が祝日のときは翌日。又別に夏期休館日・年末年始休館日がありますので、詳しくはおたずね下さい。

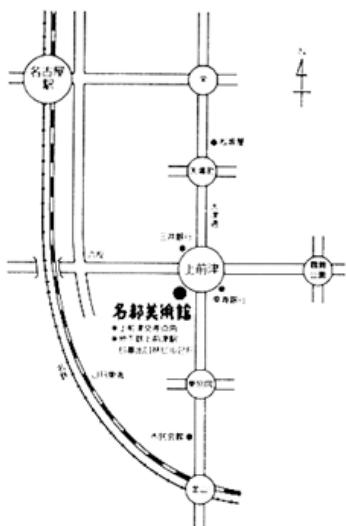
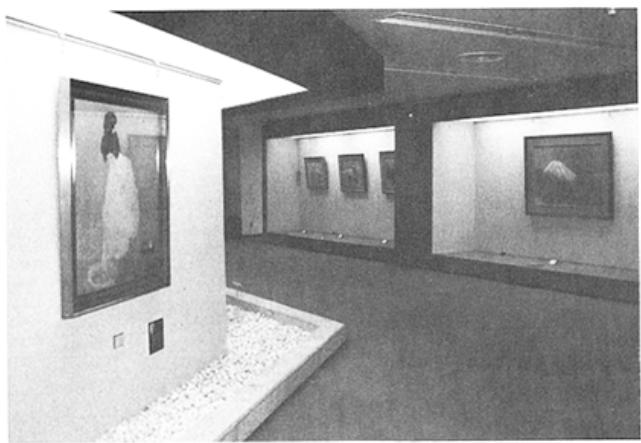
入館料 一般……500円 高大生……300円
小中生……150円



特色 当館は名古屋の都心部にあり、交通至便な条件に恵まれております。ビルの中のワンフロアを展示室に利用しておりますが、街中にあっても閑静な雰囲気を出すよう工夫致しました。

近代日本画を中心とした美術館としては、この地方で初めてであり、横山大観、川合玉堂や“日本画五山”といわれる東山魁夷、杉山寧、高山辰雄、加山又造、平山郁夫等の作品に加えて上村松園、鍋木清方、伊藤深水の美人画の蒐集においては他に類をみない充実したものになっております。近代日本画の流れを知る機会としてお楽しみいただけると思います。

平日の街の喧騒からふと離れてあるいは日曜日に散歩をかねて美術館を訪ねる一といったように気楽におこしいただけると思っております。



岩崎城歴史記念館

所在地 〒470-01 愛知県愛知郡日進町大字岩崎字市場67番地
電話(05617) 3-8825

交 通 名鉄日進駅から車で10分
名鉄日進駅から名鉄バス五色園行きに乗り岩崎おんたけ口下車徒歩2分

沿革 岩崎城の歴史を通じて、町民に地域の文化



財について理解をより深めていただくとともに、教育、文化の発展に寄与するためのコミュニティーセンターとして、岩崎城歴史記念館を開設しました。

施 設 鉄筋コンクリート造り2階建

1階

常設展示室 70.47m²

事務室 30.94m²

2階

多目的ホール（大会議室） 76.23m²

多目的ホール（小会議室） 54.58m²

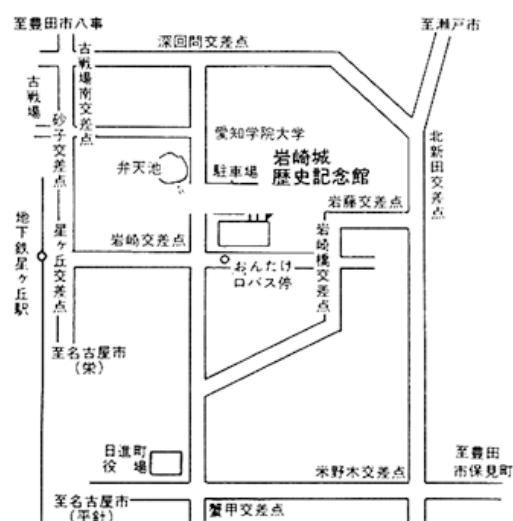
多目的ホール（談話ロビー） 34.34m²

開 館 午前9時～午後5時

休館日……毎週月曜日、国民の祝日（祝日が月曜日にあたる場合はその翌日）年末年始（12月28日～1月4日）

入館料 無 料

特 色 当館は、大会議室、小会議室、常設展示室より構成されており、大会議室は、約40名の



会議等に使用することができ、また、展示会等にも使用することのできる設備を備えております。

小会議室は、約30名の会議等に使用することができ、また、視聴覚室(VHSビデオ)として使用することのできる設備を備え、視て楽しみながら研修できる設備となっております。なお、大会議室と小会議室の境の壁が移動でき多目的ホールとしての使用も可能であり、多種、多彩な催しに使用していただけるものと思います。

常設展示室は、岩崎城の歴史に関する資料、及び発掘調査による出土品を昭和63年3月までに展示し、同年4月に一般公開する予定です。

甚目寺町歴史民俗資料館 JIMOKUJI HISTORY FOLK MUSEUM

所在地 〒490-11 海部郡甚目寺町大字甚目寺字東門前8
電話(052)443-0005(保健センターと共に)

交通 名鉄甚目寺駅下車 徒歩5分程

沿革 昭和59年7月、埋蔵文化財を始め古文書、産業・生活の民俗民具等文化財を永久に保存し、一般に展示公開し広く社会教育・学校教育に役立てるため、中央公民館内に郷土資料室を設置。

昭和60年6月、文化遺産の収集、保存のより充実のため歴史民俗資料館の建設に着手。
保健センター・産業会館との三館複合施設である町民会館3階部分に設置。

設立 昭和61年11月23日開館

施設 鉄筋コンクリート造3階建 3階部分
床面積 720.78m²



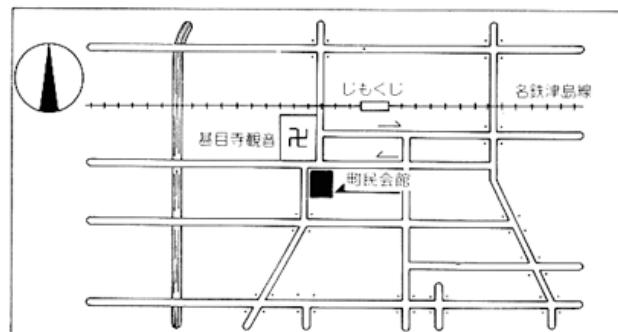
展示室	212.77m ²
収蔵庫	153.51m ²
管理室・調査研究室	50.60m ²
整理室	35.00m ² 等

開館 午前9時～正午・午後1時～午後4時
休館日：毎週水曜日 12月28日～翌年
1月4日 特別休館日有

入館料 無料

特色 古くから甚目寺観音といわれ、江戸時代から尾張四觀音の筆頭として尊崇を集めている鳳凰山甚目寺を中心に門前町として栄えた甚目寺町。その史跡甚目寺観音と隣接する位置にある当資料館は、甚目寺町の歴史を知る上で格好の場所にあります。

展示室は、大きく7つの区割りをし、現物展示・複製展示・映像機器の使用等色々な方法を用いて、目で、耳で歴史に触れることが出来ます。



主な展示物として
甚目寺観音境内再現模型（尾張名所図絵）

重要文化財絹本著色仏涅槃図和紙複製
 重要文化財絹本著色不動尊像和紙複製
 白鳳時代の瓦片及び出土遺物
 弥生住居跡再現模型及び映像による生活説明（サイキックシアター）
 コピープリンター付文化財ビデオガイド
 等々

作手村歴史民俗資料館

所在地 〒441-14

電話(05363) 7-2211

交 通 J R 東海新城駅から車で30分
 名鉄岡崎駅から車で45分

沿革 失なわれゆく民俗資料等の収集を始めたのが、昭和50年、収蔵場所は旧庁舎を利用し、作手村郷土資料館として一般に公開していた。しかし、施設の老朽化に伴い新らに建設し、昭和62年2月に歴史民俗資料館として開館した。

施 設 鉄筋コンクリート造日本瓦葺高床式2階建
 1階床面積 288.615m²
 2階床面積 292.965m²
 延床面積 581.58 m²

開 館 平日 9:00~17:00

土曜日 9:00~12:00

休館日 日曜日、国民の祝日、年末年始
 但し、7月、8月は日曜日も開館



入館料 無 料

特 色 作手高原は、昔から広大な湿地帯が展開しており、原始から現代に至るまで人々は、そ

の湿地をたくみに利用してきた。1階には、それら湿地を中心として、県指定文化財となっている長ノ山湿原のジオラマや、湿原に堆積している泥炭（ピート）の分析結果やサンプルなどを展示しており、2階には、長篠合戦で勇名をはせた奥平氏コーナーや郷土芸能の歌舞伎コーナーなどを展示し、未来の郷土を築く若者への情報源となっている。



「愛知の博物館」No.43

発行日 昭和62年8月25日

編集・発行 愛知県博物館協会

〒489 愛知県瀬戸市南山口町234番地

愛知県陶磁資料館内

〈0561〉84-7474